

# Cisco Unified Communications製品のクロスサイトスクリプティングの脆弱性

Medium	アドバイザリーID : cisco-sa-cucm-xss-ksKd5yfA	<a href="#">CVE-2022-20815</a>
m	初公開日 : 2022-07-06 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">6.1</a>	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCvy16646</a> <a href="#">CSCvy60442</a> <a href="#">CSCvy52029</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Unified Communications Manager(Unified CM)、Cisco Unified CM Session Management Edition(Unified CM SME)、およびCisco Unified Communications Manager IM & Presence Service(Unified CM IM&P)のWebベース管理インターフェイスの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者がインターフェイスのユーザに対してクロスサイトスクリプティング(XSS)攻撃を実行する可能性があります。

この脆弱性は、Webベースの管理インターフェイスがユーザ指定の入力を適切に検証しないことに起因します。攻撃者は、インターフェイスのユーザを巧妙に細工されたリンクをクリックするように誘導することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は影響を受けるインターフェイスのコンテキストで任意のスクリプトコードを実行したり、ブラウザの機密情報にアクセスしたりする可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-xss-ksKd5yfA>

## 該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、次のシスコ製品がデフォルト設定の場合に、公開時点で影響を受けました。

- Unified CM
- Unified CM SME
- Unified CM IM&P

公開時点で脆弱性が確認されている Cisco ソフトウェアのリリースについては、このアドバイザリの「[修正済みソフトウェア](#)」セクションを参照してください。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、[シスコ セキュリティ アドバイザリ ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## 修正済みリリース

発行時点では、次の表のリリース情報は正確でした。最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

左の列はシスコソフトウェアリリースを示し、右の列はリリースがこのアドバイザリに記載された脆弱性の影響を受けるかどうか、およびこの脆弱性の修正を含むリリースを示します。

### Unified CMおよびUnified CM SME

Cisco Unified CMおよびCisco Unified CM SMEリリース	First Fixed Release ( 修正された最初のリリース )
14	14SU2

## Unified CM IM&P

Cisco Unified CM IM&Pリリース	First Fixed Release (修正された最初のリリース)
11.5(1)	11.5(1)SU11
12.5(1)	12.5(1)SU6
14	14SU2

Product Security Incident Response Team (PSIRT; プロダクト セキュリティ インシデント レスポンス チーム) は、このアドバイザリに記載されている該当するリリース情報と修正されたリリース情報のみを検証します。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

## 出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

## URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-cucm-xss-ksKd5yfA>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	-	最終版	2022年7月6日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。